

橘小学校等複合化整備事業に係る仮設校舎設置に関する質疑応答集
《説明会当日にいただいたご質問・ご意見へのご回答》

＜事業全般＞

Q 過去に下茶屋公園の土地を利用して建て替える案があったかと思いますが、その案はもう検討していないということでしょうか。

A 下茶屋公園の敷地を活用して学校の改築を検討していた時期もございましたが、検討結果としてはそこでの改築はできないという結論に至りました。現在の橘小学校の敷地ではないところで改築ができれば、仮設校舎に通学していただく必要はありませんので、その案の検討をいたしました。現敷地での施設整備以外は難しいと考えています。

Q 現状の令和11年度までのスケジュールについて、「予定」と書かれていますが、確定がされるのはいつでしょうか。

A 行政の仕組みは予算が確定された時点で「予定」ではなく、確定となります。現状においては、例えば来年度になっても、再来年度になっても「予定」ということには変わることはありません。一方で、このスケジュールについては、こうして皆さまに公表させていただいておりますので、遅れのないようにしていきたいと考えています。

Q 仮設校舎の期間が令和8年度から10年度の3年間となっておりますが、これ以上伸びることはないのでしょうか。期間が延びるのではないかとこの声も周りから聞こえてくるので、ぜひ期間短縮に取り組んでほしい。

A 仮設校舎の期間は、橘小学校の新校舎（複合施設）の建設工事期間に伴い確定していくこととなりますが、現状の検討段階においてははっきりとお示しすることはできませんが、可能な限り短縮していきたいという意向で検討を進めております。

Q 整備構想を見ると、複合施設のメリットばかりが挙げられているように見受けられますが、デメリットというものは何かあるのでしょうか。

A 他都市の事例において、複合施設の共用する諸室の管理面などにおいて、特定の施設に負担が集中しているという話をお聞きしています。特に学校の教職員に複合施設全体の管理面の負担が偏らず、教育活動に専念できるようにしていきたいと考えています。

<仮設校舎について>

Q 仮設校舎はどのような建物になるのでしょうか。

A 空調設備やトイレというような設備については、本設の校舎同等の機能を確保し、教育環境に影響が出ないよう、明るく清潔感のある仮設校舎の整備を目指しております。加えて、この事業における仮設校舎については、設置期間が長期になることから、例えば天井裏への断熱材の敷き込みなどの仮設校舎の仕様の検討や、工期の短縮にも努め、橘小学校、平和小学校ともに、子どもたちに少しでも負担が掛からないようにしていきたいと考えています。 ⇒一般的な仮設校舎のイメージは5ページをご覧ください。

Q 本設の校舎と仮設校舎のハード面の違いは何なのでしょうか。

A 通常の本設の校舎は鉄筋コンクリート造ということが一般的ですが、仮設校舎は将来的に除却することを念頭においたものですので、軽量鉄骨造という骨組みが鉄骨の建物です。見た目については、簡易なものに見えるかもしれませんが、耐震性等そこで生活していく子どもたちの安全は担保された建物です。

Q 仮設校舎昇降口部分の段差解消のためのスロープは雨天時滑りやすくないか。

A 児童の安全に関わる大切なポイントになりますので、スロープ床の材質の仕様への反映や、滑り止めを付けるなど必要な対策を検討していきます。

Q 仮設校舎の防音・防振性能はどのようでしょうか。児童の活動への影響はないのでしょうか。

A 仮設校舎の構造上、本設の校舎に比べどうしても防音・防振性能は劣る部分がありますが、少しでもそうした性能が向上するよう、仕様の検討の際には大切なポイントとして考えていきます。

Q 仮設校舎を設置するのではなく、近隣のビルなどで教育活動をすることはできないのでしょうか。

A 橘小学校の300人を超える児童の規模を踏まえ、教育活動に必要となる特別教室や給食調理場などの学校機能を確保しようとする、ビルなどの既存の建物を借りて学校を運営することは困難ですので、仮設校舎による対応が必要であると考えています。

Q 仮設校舎において特別支援学級の教室はしっかりと整備されるのでしょうか。

A 特別支援学級を含め、必要な普通教室数を整備していきます。

Q 複合施設の建設工事期間の短縮はできないのでしょうか。

A 教育委員会としまして、工期を少しでも短縮できるとよいと考えていますが、事業計画における現状の段階では、まだ設計前でもあり具体的な工期を示せる段階にはありません。今回の事業においては民間事業者のノウハウを活用することを考えており、そういったことから工期の短縮ができないかの検討を進めていきます。

<学校運営について>

Q 仮設校舎の運営期間中の通学路の安全対策について、PTA 頼りになるようなことがないように、例えば交通指導員を配置するなど必要な予算を確保してほしい。

A 児童の安全確保は重要なことであると考えており、通学路中の安全確保に限らず、施設の安全も含めた安全対策の予算をしっかりと要求していくとともに、十分な確保ができるよう努めていきます。

Q 質疑応答集にある式典や運動会などの行事の開催方法や通学路をどうするのかなど、今後検討していくとなっているものが具体化するのはいつでしょうか。

A 仮設校舎設置期間中の平和小学校を含めた学校運営については、式典・行事等の実施方法や通学路など大きなポイントとなる部分、大枠については令和4年度中に決めていきたいと考えています。細かい部分も含め事前に決めておく必要があることについては、令和5年度中には決めていきたいと考えています。

<今後の説明会について>

Q 今回の説明会の時間設定が19時ということでしたが、子育て中の保護者の方が参加しやすいように、例えば平日の午前中など開催などはできないのでしょうか。(別の方のご意見として、共働きのため平日夜だと参加しやすいという声もいただきました。)

A 今回の保護者説明会の開催日時については、少しでも参加しやすい時間帯を、土日の開催も含めて検討した上で開催させていただきました。今後の説明会等の開催については、ご意見をいただきながらできるだけ多くの方にご参加いただける日時を設定していきます。

Q 名古屋市における仮設校舎の検討が進む都度に説明会を実施してほしい。

A 仮設校舎の内容やその期間の学校運営等、順次色々なことを決めていきますので、その都度説明会や資料をお配りするなど、情報発信に努めていきます。

Q 説明会の開催方法ですが、動画の配信など双方向ではない形でもいいので、オンラインによる開催はできないのでしょうか。

A コロナ禍の状況も踏まえ、オンラインでの情報発信は当然考えていかないといけないと考えています。今後の開催の仕方については、少しでも多くの方に必要な情報をお伝えできるように工夫しながら進めていきたいと考えております。



この写真は某仮設校舎等専門メーカーの許可を得て、カタログより抜粋させていただきました。



多目的トイレ



本校舎と仮設校舎のイメージ

これらの写真は一般的な仮設校舎をお示したものです。橘小学校の仮設校舎は、3年間という長期間に渡ることから建物の内容については引き続き検討をしていきます。

